

長さの2倍になるということで、くもの糸は伸び易いことを意味している。

芥川竜之介の小説「蜘蛛の糸」の話があるので、65kgの人間を引き上げられる蜘蛛の糸の数を計算すると5千匹のこがね蜘蛛か女郎蜘蛛が必要であることになる。したがって一匹の蜘蛛が引き上げられるのは人間の魂だけである。

あとがき

現在天文器械で人間の眼は光電管に置き換えられ、人間が頭の中で視覚を整理することによって積分、平均化をした観測技術はコンピューター制御による高密度、高

品質の高速観測技術に代ってしまった。時代の変遷と共に観測技術も変わってゆくが、アイデアの本質はリバイバルが多いものである。大きくちがうところはその時代の装置を使っていることである。

これからも容易手に入ってくるくも糸の十字線や測定線をつくってみようという向きの一助ともなり、いつか天文史でのみ見るであろうくも糸をもった眼視マイクロメーターについて解説した次第である。

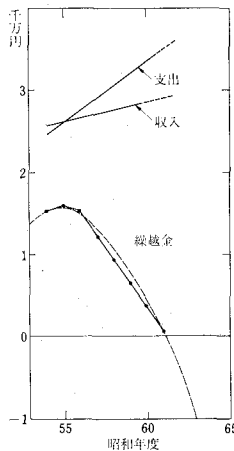
本文中蜘蛛の糸は素材としての意味であり、くも糸もしくはくも糸は測定線としての意味である。

学会だより

日本天文学会の財政状態について

学会の運営は主として会員諸氏の会費によって行われております。本会費は昭和50年に値上げを行って以来、一般会員3,500円、特別会員10,000円/年にすえおかれております。この間、会員増、事業収入の改善などにより、収入増につとめておりますが、はかばかしい伸びを示すにはいたっていません。一方、支出は物価の値上がり、出版物の増加などにより年々確実に増加しております。

ここで本会の繰越金の推移をみてみますと、これは $\int(\text{収入}-\text{支出})dt$ で表わされ、点線で示すように上に凸の放物線で近似されます。このままですと次年度から赤字となり、くるしい運営が予想されます。



本会としましては事業収入の増、運営の改善など一層の努力をしてゆく所存ではありますが、加えて、次年度(62年度)から会費の値上げにふみきらざるを得ない状況であることを、会員諸氏に理解いただきたく、この紙面をかりてうったえる次第であります。会費値上げの件につきましては61年春季年会にくわしく説明させていただきたいと思ひます。御意見をおよせ下さるようお願いいたします。

日本天文学会会計理事 祖父江義明

日本天文学会評議員の候補者名簿

1986年度通常総会に推薦される評議員(1986年5月～

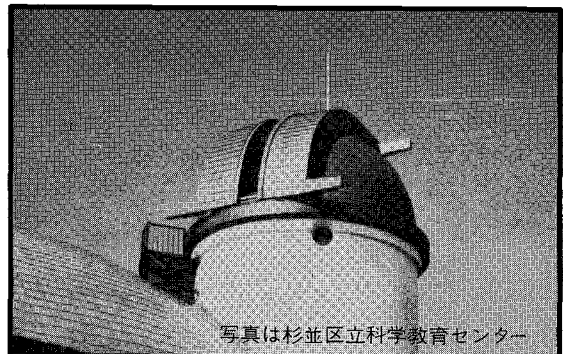
1990年5月)の候補者には、次の方々が選ばれました。

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 青木 信仰 | 磯部 秀三 | 内田 豊 |
| 戎崎 俊一 | 奥田 治之 | 小田 稔 |
| 海部 宜男 | 小暮 智一 | 小平 桂一 |
| 高窪 啓弥 | 土佐 誠 | 日江井 栄二郎 |
| 藤本 光昭 | 舞原 俊憲 | 吉田 重臣 |

なお、有権者は563名、投票者数は224名(うち無効2名)、投票総数2220票(うち無効票17)でした。

1986年2月13日

第6期 選挙管理委員会



写真は杉並区立科学教育センター

★営業 **ASIB** 品目★
天体望遠鏡と双眼鏡
ドームの設計と施工

▶主なドーム納入先◀

東京大学宇宙航空研究所/東京大学教養学部/東京大学芸学部/埼玉大学/福島大学/川崎市青少年科学館/杉並区立科学教育センター/駿台学園高校(北軽井沢)/船橋市立高校/高知学園/土佐市民館/刈谷市中央児童館等の他、日本全国に100余基の実績。

アストロ光学工業株式会社

東京都豊島区池袋本町2-38-15 ☎03(985)1321